



1 大切な命を守り育む

◆ **新型コロナウイルス感染症から県民の大切な命を守るため、感染拡大の抑制、医療提供体制の確保など、コロナ対策に万全を期し、安心・安全な社会を実現**

医療・検査提供体制等の確保・充実

◆ **コロナの影響から県民の命を守るため、医療・検査提供体制等を更に充実**

《これまでの主な取組と拡充内容》

○医療提供体制の強化

- ・医療機関、宿泊施設での受入可能人数 概ね800人(2月中) ← 概ね600人
- 入院患者受入病床 434床(2月中) ← 350床
- 宿泊療養施設 375人(2月中) ← 275人

○検査体制の強化

- ・1日当たり検査可能件数 約4700件(現在) ← 4100件(10月末) ← 1000件(7月末) ← 300件(6月末)
- ・診療・検査医療機関 574機関(現在) ← 491機関(10/26指定)
- ・外来・検査センター 14か所(現在) ← 12か所(9月末) ← 11か所(6月末)

○相談体制等の強化

- ・保健所人員体制 532人(兼務含む) ← 413人(4月) (うち保健師数 94人(現在) ← 74人(4月))

《令和3年度当初予算案の内容》

医療提供体制の強化 145億270万3千円 →健康福祉部1

- ・感染症患者の受入体制を確保するため、患者受入医療機関の病床確保料を補助、宿泊療養施設を設置・運営
- ・医療提供体制を維持するため、医療従事者が感染した場合等に応援職員の派遣等に必要な経費を支援
- ・医療従事者の処遇改善や離職防止を図るため、特殊勤務手当を支給する入院患者受入医療機関に助成、自宅に帰宅できない方々の宿泊施設確保に必要な経費を支援

検査体制の確保 12億2370万1千円 ⇒健康福祉部1

- ・積極的疫学調査や幅広い行政検査の実施等により、必要な者が迅速に検査を受けられる体制を維持
- ・感染拡大防止を図るため、検査に必要な診察と検体採取を県内14か所の「外来・検査センター」で集中的に実施
- ・重症化リスクが高い高齢者等の感染防止のため、感染拡大が顕著な地域の高齢者施設等が行う自主検査の経費を支援

相談体制等の充実 5億3626万6千円 ⇒健康福祉部1

- ・ワクチンの副反応等専門的な相談に応じるための体制を新たに構築、有症状者の受診相談体制を確保

福祉提供体制の確保・充実

◆必要な福祉サービスを継続して受けられるよう、高齢者施設等の感染防止策への支援を拡充

福祉施設等の支援 11億3955万2千円※ ⇒健康福祉部2、県民文化部

- ・高齢者施設での感染拡大防止のため、生活空間の区分けを行うための施設改修を支援
- ・福祉サービスの提供体制を維持するため、感染者が発生した施設等への他施設からの職員派遣等に係る経費を支援
- ・感染者等に対応するための施設職員の宿泊施設確保に必要な経費等、福祉施設のかかり増し経費を支援

自殺予防の取組強化

◆「誰も自殺に追い込まれることのない信州」を目指し、関係機関と連携した自殺予防の取組を強化

自殺予防の取組強化 3億7893万5千円(3億5461万7千円) ⇒健康福祉部17、教育委員会10~12

- ・女性の自殺者が増加しているため、女性の利用が多い施設に女性用リーフレットを配置するなど、女性に特化した自殺予防対策を実施
- ・必要な人に必要な情報を提供するため、関係機関と連携した現状分析に基づく周知啓発や情報発信を強化
- ・子どもの悩みや不安に寄り添うため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、LINE相談等による相談支援体制を拡充

健康づくりの推進

◆コロナ禍でのライフスタイルの変化に対応するため、「信州ACEプロジェクト」を更に推進

信州ACE(エース)プロジェクトの推進 3934万4千円(3060万5千円) ⇒健康福祉部4

- ・コロナ禍での「巣ごもり」による運動不足や企業の健康経営に関する意識の希薄化といった健康課題を踏まえ、働き盛り世代対象の事業所対抗ウォーキングの実施など企業の健康づくりの取組を推進

不妊治療等への支援の拡充

◆子どもを産み育てやすい環境づくりを推進するため、不妊治療への支援を大幅に拡充

不妊治療等への支援の拡充 13億7727万3千円※(3億4010万6千円) ⇒健康福祉部10・27、産業労働部20

- ・不妊治療の経済的負担を軽減するため、高額な治療費がかかる特定不妊治療に対する支援を拡充

【拡充内容】

所得制限の撤廃(現行:夫婦合算の所得730万円未満)

助成額の拡充 1回の治療につき30万円(現行:15万円(初回のみ30万円))

助成回数^{にんよう}の拡充 子ども1人につき最大6回(現行:通算6回)

(新)・小児・AYA※1世代がん患者等の妊孕性※2温存治療費の助成を実施 ※1「Adolescent and Young Adult」(思春期・若年成人)の略
※2男女を問わず「妊娠するための力」の意味

- ・不妊治療を受けたい方の不安の軽減等を図るため、不妊・不育専門相談センターで相談を実施
- ・職場環境改善アドバイザーが企業等を訪問し、多様で柔軟な働き方の導入等を働きかけ